

# 議 会 だ よ り

清水町

2015年(平成27年)11月

No.143

■発行 北海道清水町議会  
■編集 清水町議会運営委員会  
〒089-0192 上川郡清水町南4条2丁目  
☎62-3317 FAX62-5160

## 平成26年度各会計の決算を認定

### 一般質問は9人21項目

第5回定例会

第5回定例会は9月8日に開会、17日までの10日間を会期として開かれました。

町からは行政報告1件が示されたほか、条例の制定2件と一部改正5件、4会計の補正予算、平成26年度一般会計を含む8会計の決算認定、物品の取得(スクールバス1台)等の提案があり、審議の結果、全て原案のとおり可決しました。

また、一般質問は10日と11日の2日間にわたり行いました。



決算の認定は、予算がどのように使われ、町民の生活においてどのような成果をあげたか判定をする議会の大事な権限である。

平成26年度各会計の歳入歳出決算について、9月14日と15日の本会議で審議が行われました。

一般会計歳出の審議では商工費の交流人口拡大支援事業補助金について、補助団体であるNPO法人清水町スポーツツーリズム協会に関する資料の提出を求め、担当課から説明を受けました。それに対し議員からは、事業の進捗状況や事務処理の方法などについての質疑が出されました。

採決では、一般会計が賛成7・反対5の賛成多数、ほか7会計は全会一致で認定としました。

### 賛否が分かれた案件

【認定第1号】平成26年度清水町一般会計歳入歳出決算の認定について

賛成議員7人

反対議員5人

鈴木・桜井・高橋  
佐藤・口田・中島  
原・奥秋  
安田  
西山

※加来議員は議長のため採決に加わっていません。

#### 〔反対討論〕 奥秋康子 議員

交流人口拡大支援事業補助金の精算額を減額したが、資料を見ると予算執行状況に相当数の不備があり、目標実現に向けた努力が何一つ見えない。町民の期待を裏切り、損害を与えたことは紛れもない事実であり、不認定とすべきである。

#### 〔反対討論〕 原 紀夫 議員

交流人口拡大支援事業の資料を見たが、町民に説明できない内容であり賛成できない。このことをしっかりと受け止め、改善していただきたい。多額な補助金の使途について、今一度検討し直し、町民に認めてもらえる補助金にしていただきたい。

#### 行政報告

##### 農作物の生育状況等について

9月1日現在の生育状況は、春から好天が続いたことにより一部の作物を除き概ね順調な生育経過となっている。てん菜は「やや良」、馬鈴薯・

豆類は「並」、牧草の一番草・二番草の収量は平年を下回っており、サイレージ用とうもろこしは「並」となっている。今後も農作物の適期収穫指導等に万全を期していく。

## 条例の制定・一部改正

- 消防団の設置及び消防団員の定員並びに非常勤消防団員の任命等に関する条例の制定  
消防の広域化による西十勝消防組合の解散に伴い、消防団が町に移管されることから新たに条例を制定。西十勝消防組合の条例に準じた内容。
- 消防報償金に関する条例の制定  
上記の消防団に関する条例と同様に、新たに条例を制定。西十勝消防組合の条例に準じた内容。
- 個人情報保護条例の一部改正  
「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律」（いわゆる「番号法」）の施行に伴い、特定個人情報の適正な取扱いの確保、保有する特定個人情報等の開示、訂正、利用の停止、消去及び提供の停止を実施するために必要な措置を講ずるための改正。
- 過疎地域における固定資産税の免除に関する条例の一部改正  
過疎地域自立促進特別措置法の改正により、課税免除期間の延長。  
「平成28年3月31日まで」 → 「平成33年3月31日まで」
- 手数料徴収条例の一部改正  
マイナンバー（社会保障・税番号制度）の導入により、通知カード及び個人番号カードの再発行手数料（500円）の規定を追加。住民基本台帳カードの規定を廃止。
- 福祉館設置条例の一部改正  
熊牛福祉館を旧熊牛小学校に移転するため、所在地の規定を改正。
- 中小企業近代化資金融資条例の一部改正  
運転資金について、町が融資利息を助成する期間を1年間延長。

## 平成27年度 補正予算

### 一般会計 (4回目の補正)

1億 7,961万円増  
総額84億8,570万円

### 一般会計の主な補正(歳出)

◇コミュニティバス運行事業補助金	33万円の増額
◇いきいきふるさとづくり基金積立金	602万円の増額
◇個人番号カード交付用端末機器及び設定委託料	43万円の増額
◇介護サービス提供基盤等整備事業補助金	3,759万円の増額
◇認知症対応型グループホーム整備事業補助金	206万円の増額
◇国民年金システム改修委託料	36万円の増額
◇十勝川左岸地区農業用水施設修繕料	30万円の増額
◇御影農業用水施設修繕料	40万円の増額
◇公園草刈用トラクター修繕料	42万円の増額
◇とがち広域消防事務組合負担金	193万円の増額

## 意見書の提出

次の意見書は、第5回定例会において審議の結果、可決され、議会はこれを関係行政庁に提出しました。

- ◆安全保障関連法案の徹底審議と国民への十分な説明を求める意見書
- ◆林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書

# 町政を問う！ 一般質問

9月定例会では9人の議員が理事者に  
対し、21項目の一般質問を行いました。  
なお、質問と答弁は要約してあります。

### 本町の畜産クラスター事業

桜井崇裕 議員

①計画作成段階に入っていると  
思われるが、生産者からどのよ  
うな要望があるか。

②TMR(混合・完全飼料)セン  
ター等をクラスターの中で考  
えては。

③糞尿対策として、バイオ  
マスプラント計画はあるか。

④酪農ヘルパー等の人材  
育成や、担い手支援の考  
えはあるか。

高薄町長

①農協から44戸87機種に  
わたる機械のリース事業  
への要望があり、このうち  
24戸20機種の貸し付け  
が決定している。

ハード事業では、施設  
整備に関わってパーラー  
やフリーストールの関係  
で31戸の要望がある。

②町の畜産クラスター計  
画の構成員である企業が

TMRの役割をしている。  
③現在、導入に向けた事  
業化可能性調査を実施し  
ており、町全体で計画を  
作成し、実施に向けて進  
めていく。

④酪農ヘルパー組合は農  
協の組織であるが、町と  
しても研修体制など新規  
就農も含めてサポート体  
制を考えていく。

### 森林認証制度

桜井崇裕 議員

十勝の民有林では、森  
林組合、市町村、山林所  
有者などで構成する「と  
ち森林認証協議会」が  
設立され、認証取得に取  
り組もうとしている。

本町の町有林について、  
参加の考えがあるか伺う。

高薄町長

この認証制度は日本独  
自のものであり、世界的  
に認められる制度になっ  
ていない。現段階では全  
道的な取り組みではなく、

更新時期までの5年で検  
討はするが、会費が非常  
に高く、本町には特別な  
メリットがないことから  
参加を見合わせている。

### 税収入の現状と今後の見通し

原 紀夫 議員

税の不納欠損額は過去  
10年で最低額となってい  
るが、平成22年度以降、  
町民税の収入未済額は増  
加に転じ、平成26年度決  
算では5千万円を超えて  
いる。

今後の財政見通しにつ  
いて財政推計を出すのか。  
また、来年度の予算はど  
のような考えで組もうと  
しているのか伺う。

高薄町長

今後の財政推計は予想  
がつきにくいですが、目安と  
して出していく。  
来年度予算は総合計画  
を見直し、老朽化した施  
設の改修や備品の更新、  
更には医療福祉分野で自

立・拡充していかなけれ  
ばならない部分、また、  
地域包括ケアシステムに  
伴う専門職員等の配置な  
どを考えている。

### スプレー缶の回収

原 紀夫 議員

スプレー缶やカセット  
コンロ用ガスボンベをこ  
みとして出す場合のルー  
ルについて、「穴あけ不要」  
に変更する自治体が出て  
きている。製造会社でも  
使い切った後にガスが残  
っている可能性があり、  
穴あけは危険だと警告し  
ている。

本町は従前同様に町民  
に穴あけをお願いすると  
のことだが、消防署に持  
ち込むなど、将来、帯広  
の「くりのりんセンター」  
に移送することも含めて  
考えるべきではないか。

高薄町長

本町では現在不燃ごみ  
として取り扱っているが、

将来、十勝全体で集約す  
ることになっており、帯  
広市がどう対応するかに  
よって変わる。帯広市の  
対応に合わせて取り扱い  
を検討する。

### 合同納骨塚建立に向けての進捗は

原 紀夫 議員

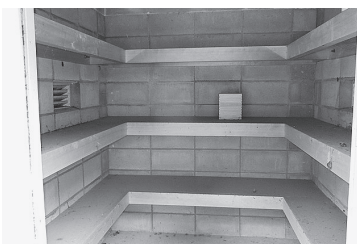
昨年12月議会で質問し、  
将来(2〜3年先)の必  
要性について答弁いただ  
いた。道内での建立は増  
加傾向にあり、町単独で  
の建立を終えて受け入れ  
ているところもある。本  
町でも議会報告会や町民  
から進捗状況を問われる  
ことがある。

担当課から無縁仏を埋  
葬する施設が存在が確認  
でき、約100体分の骨  
箱が収容可能と聞いたが、  
今後どのような考えで進  
めようとしているのか伺  
う。

高薄町長

清水霊園の敷地内に使

用可能な納骨堂があるこ  
とを確認した。これは、  
清水霊園を改修・拡充し  
たときに建立したもので  
あり、骨箱で約100体  
分置けるしっかりとした  
棚があることから、これ  
を当面使用する方向で進  
めたい。  
使用条件、使用料等を  
含め、早い時期の供用開  
始を目指す。



清水霊園にある納骨堂の中。骨箱を置く棚が備え付けられている。

### 管理職等の多人数退職への対応

原 紀夫 議員

来年は多くの職員が定  
年退職することになり  
ているが、万全の体制で継  
続対応できるのか伺う。

①本町の幹部候補養成はどのように行っているか。  
②退職する幹部職員の後任者は自治大学の研修を終えて配置されるのか。  
③研修を全く受講せず配置される場合があるとすれば、配置後どのような対応を取り、スムーズな業務執行を進めるのか。

**高薄町長**

①幹部養成のひとつとして自治大学で行われている研修を受講している。  
②他の研修も受講しており、自治大学の研修を受講したから配置されるというものではない。  
③職員はさまざまな研修を受講してきており、課長職は必ず課長補佐職を経験した後に配置される。引き継ぎを確実にやって業務を進める。

**いじめ防止対策**

木村好孝 議員

文部科学省は「学校い

じめ防止基本方針」に沿った対応の取組点検と見直す等の措置を通知で求めているが、各学校の取組状況と、必要な改善措置の状況について伺う。

**三澤教育委員長**

情報の共有と報告がなされているか、組織として機能しているか、さまざまな兆候や懸念など全ての教職員から情報が収集されているか、計画的・組織的に実行されているか等の点検は全校で実施している。更に、校内研修の実施や体制の強化、基本方針の公開の取り組みが進められている。

**教職員の勤務実態と改善課題**

木村好孝 議員

文部科学省は教職員の深刻な長時間勤務の実態から「学校現場における業務改善のためのガイドライン」をまとめているが、本町の教職員の勤務

実態について伺う。

また、「改正地方教育行政の組織及び運営に関する法律」による新教育委員会制度への移行にもない、教育行政への町長の考えを伺う。

**三澤教育委員長**

教材研究や指導の準備などに加え、部活動や少年団等で多忙な状況にあると認識している。

業務が特定の教職員に集中しないよう、改善を進めている。各学校長と相談しながら、事務処理の効率化、簡素化を図るよう努める。

**高薄町長**

これまで培われたものの再確認をしながら、教育大綱の策定や諸課題について、教育委員会との連携をより一層強化して取り組んでいきたい。今の子どもたちをめぐると問題は多岐にわたり、かなり複雑になってきているので、環境の整備ときめ細やかな対策が必要である。

**冬季道路の安全確保**

奥秋康子 議員

本町においても吹雪による視程障害や吹きだまりが交通の障害となっており。特に道道から町道に移管された道道忠別清水線から道道帯広新得線の交差点までの区間は負の要因が多くあり、交差点のセンサー式信号機は、吹きだまりができると作動せず、車が動けなくなることたびたびある。防雪柵等の設置が必要と考えるがいかがか。

また、この区間が町に移管された理由は。

**高薄町長**

防雪柵等の設置は視界の障害にもなる。安全な状況をつくらなければならぬので、さまざまな意見を聞いて調査する。町道への移管は、屈足方面から来る車が増加し、北海道の調査結果を受け、

道道忠別清水線を変更したことによる。平成3年の臨時町議会で議決され、町道の認定を受けている。



風雪による吹きだまりは、冬道における交通安全の課題である。

**老朽化に伴う福祉館の改修・改築計画は**

奥秋康子 議員

築30年以上経過している福祉館は、冬場での屋内環境が厳しく、特に水回りにおいては凍結対策への配慮が大きな負担となっている。老朽化を放置すれば劣化が進み、ますます大きな財政投資が必要になるが、施設の改修、改築計画はどのようになっているか。公共施設の情報を一元管理して、常に町全体を

意識した計画的な整備が必要と考えるがいかがか。

**高薄町長**

福祉館は町内に12箇所あり、そのうち6箇所は30〜40年経過している。順次修繕や備品整備をしてきているが、トイレの改修をしていないので、地域要望等を含めて協議する。

具体的な改修・改築計画は策定していないが、それぞれの施設の老朽化を考慮し、計画を策定していきたい。

**高齢者タクシー乗車券助成事業の拡充**

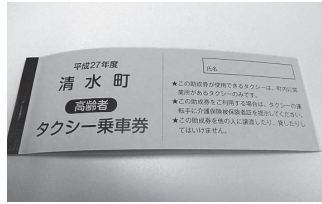
佐藤幸一 議員

この事業を高齢者の閉じこもり防止策として、例えば介護認定を受けていない70歳以上の独居世帯や75歳以上で構成する世帯にも拡大する考えはないか具体的に伺う。  
①現在の対象者数と利用実績は。

### 職員の資質向上

佐藤幸一 議員

職員は社会の変化に対



65歳以上で要支援・要介護の認定を受けている方に交付されているタクシー乗車券

② 拡充した場合の必要経費の概算は。  
高薄町長  
① 平成26年度の対象者は360人。そのうち乗車券を利用された方が215人。360万円分の乗車券を交付し、183万3000円の利用があり、利用率は50・8%。  
② 約1300人が対象となり、現在の利用率から780万円程度必要になる。運転免許証の返上と合わせ、財政面も含めて検討する。

高薄町長  
① 昇任や昇給もやる気につながるが、町民あつての職員であることを常に意識し、広い視野に立つことが必要。研修を含め、方策を考える。  
② 年度初めに研修日程を通知し、希望者を募っている。研修の内容により指名することもある。町の職員研修はテーマを決めて実施している。  
③ 幅広い考え方や、深い洞察力、接遇の技術や調整力、判断力やチェック力が必要であり、これまでの経験も重要視している。

### 不登校・ひきこもりに対する本町の取り組み

鈴木孝寿 議員

本町における不登校への取り組みとその連携状況について、また、ひきこもりに対しては今後どのような支援体制を考えた地域理解の醸成に努めるのかを伺う。

三澤教育委員長

家庭環境も含めた複雑な問題に対しては、子育て支援課や学校等との情報共有と連携した対応を行い、保護者を含めて解決する努力を続けており、このことが不登校の未然防止にもつながっている。幼・保・小の連携で幼稚園や保育所での状況が小学校に詳細に伝えられており、生活面や学習指導の充実が図られるなど大きな成果となっている。

高薄町長

専門家に委ねる方法や、フリースクールを開設す

る方法もあるが、地域全体で問題を共有して課題を一つひとつクリアする方法を考えていきたい。



保護者や地域の方々の温かい拍手に包まれた学習発表会 (清水小学校)

### ふるさと納税の現状と今後の取り組み

鈴木孝寿 議員

ふるさと納税において本町は、特典制度の拡充によりその実績は大幅に上がっている。しかし、商品の送付だけでは納税者に本町の理解を得るには至っていない。一過性の納税制度にするのではなく、将来清水町に来て、住んでいただくという考え方を持った運用が必要

だと思うが、今後の方針を伺う。

高薄町長

納税していただいた方にもふるさと応援会員証を送っているが、会員証で何かできないか考えている。会員の年数によって特別住民票を作ったり、ウェブ上の住民とするのも一つの方法であり、交流、定着、移住とつながれば理想である。今ある移住促進協議会をもっと広げて実現できるものからやっていきたい。

### 女性が活躍できる環境を

安田 薫 議員

女性活躍推進法案が可決され、政府・与党が一体となって政策の推進に弾みをつけたいとあるが、今後の本町の取り組みについて伺う。

高薄町長

女性職員が多い保育士は、将来的に全員正職員

にする。女性職員の割合は28%くらいになる。国から通知が示されたら行動計画を策定する。

### 電気柵の安全確保

安田 薫 議員

最近では鳥獣被害防止対策として電気柵が多く使われているが、町として安全対策にどう取り組むのか。

高薄町長

農協の指導のほか、町も適正であるかの調査を行っている。安全表示が劣化して外れている可能性もあるので、農協ではファックスで文書を送信する等の対策をしている。

### 地域防災計画と自主防災体制

北村光明 議員

本町の防災計画と町内会等自主防災体制につい

ての現状と課題を伺う。  
①災害対策本部設置の判断をどう行つか。  
②災害対策物資貯蔵状況と訓練計画について。  
③避難などの周知体制が不十分では。要支援者への対策をどう行つか。  
④町内会での訓練等の実施と、自主防災体制をどう構築するか。

**高薄町長**  
①気象庁の警報や速報、担当者による町内巡視等を行い、総合的な災害対策が急務であると判断した場合に設置する。  
②今年度、予算を確保しており、物資等の備蓄を行うとともに、訓練計画の実施に向けて努力する。  
③防災行政無線及び防災メールなどで伝達している。要支援者等に、どう周知したらよいか個別に調査する。  
④防災のガイドマップを全戸に配布し、町内会単位による会議や防災訓練をしていかなければならないと考えている。

### 審議会の現状と課題

北村光明 議員

「町民憲章」「まちづくりに基本条例」に基づく町政執行に、各種審議会委員の意見が反映されていないとの話もある。各種審議会の現状と課題について伺う。

①委員選任の現状と課題。  
②議員は審議会の委員等を自粛しているが、傍聴者になることも望ましくないのか。  
③町民による協働のまちづくり等、住民活動が低調だと感じるが見解は。  
**高薄町長**  
①可能な限り重複は避け、幅広い選任に努めている。女性の登用率は30%以上を目標としている。  
②制限するものではないが、議員が傍聴していることと緊張して発言しにくいとの声もあり、配慮をお願いしたい。

### 人事評価制度

北村光明 議員

人事評価制度の現状と今後の計画について伺う。

①現在の人事評価はどのように行っているか。  
②能力や実績評価するための「人事評価システム」の導入計画について。  
③管理職の定年退職後の後継者育成はどのように行っているか。

**高薄町長**  
①現在人事評価は行っていない。制度としてやらなければならないので、現在はその構築に向けて準備を進めている。  
②人事評価検討委員会を設置し、チェックシートの様式やマニュアルの作成を進めている。制度概要が固まったら説明会や研修会を開催する。  
③昇格にあたっては理事者からその者にしっかり教育指導する考えている。

### 国際交流の推進

北村光明 議員

米国ミシガン州チエール市との姉妹都市提携などで交流を拡大しては。人口減少対策としても国際交流事業が求められていると思う。国際交流協会等への助成や高校生の交換留学なども含め、幅広い年齢層の交流をすべきと考えるがいかがか。

**高薄町長**  
国際交流事業には、できる限りの支援はするが、姉妹都市提携は財政的に難しい。機運が高まり、「外国との交流をすべき」との町民の声がたくさんあるならば民間交流を軸に検討していきたい。

### 人口減少対策

中島里司 議員

行政に長く関わっている町長として今こそ強いリーダーシップを発揮し、人口減少対策に取り組んでいただきたい。その決意を伺う。

また、教育委員会は、人口減少対策の一つとして清水高校の四間口維持について議論されたことがあるのか伺う。

高薄町長

働く場の充実、定住促進、観光をどうするか、新たな産物の付加価値をどのように高めていくか、人材交流も含め、活力を留めるのではなく、循環させるにはどうしたらいいかを考えて進める。  
三澤教育委員長  
高校から情報を日常的にいただいております、道教委の公立高等学校配置計画の動向など、その時々で教育委員会協議会を通じて情報の共有や意見交流を行っている。

### 閉会中の委員会活動

#### 総務文教常任委員会

- ・学校給食における危機管理について
- ・まちづくり基本条例の町民意見提出制度について
- ・その他所管に関する事項について

#### 産業厚生常任委員会

- ・ケア付き高齢者住宅について
- ・その他所管に関する事項について

#### 議会運営委員会

- ・議会の運営とその諸規定について
- ・議長の諮問に関する事項について

# 委員会 レポート

委員会活動として、  
閉会中に行った所管事務調査の結果内容を、  
各委員会は第5回定例会において、  
次のとおり報告しました。

## 総務文教常任委員会 調査報告

### ①防災活動に対する支援について ②企業と連携したまちづくりについて

①防災活動に対する支援について  
被災経験者を招いての  
セミナー開催など、住  
民にその必要性を考え  
させているところが大  
きい。隣接する町内会  
が合同で避難訓練等を  
行うなど、理想的な展  
開をみせている。

当別町では現在44町  
内会のうち37町内会で  
自主防災組織が結成さ  
れている。広がりを見  
せている理由は、年4  
回発行の「自主防災だ  
より」によるPR活動や、  
必要であると思われる。

現在入居されている  
公営住宅の環境につ  
いては、概ね良好な状  
態で管理されているこ  
とが確認できた。

### ②企業と連携したまち づくりについて

札幌市において次の  
2点の調査を実施した。  
【まちづくりパートナー  
協定】

企業と自治体がまち  
づくりに関して連携す  
ることを取り決めたも  
のであり、「市民が主役  
のまちづくり」を実践  
するものである。大都  
市だから出来る手法  
であり、行政と企業の  
一線を明確にする必要  
がある関係性としては、



札幌市役所市民まちづくり局市民自治推進室の方から説明を受けた。

【セボ―とほつと基金】  
難しさを感じたが、こ  
の手法を本町に移しか  
えて検討を行い、実施  
に向けた協議をするこ  
とが必要である。

まちづくり活動を行  
う団体に対して、企業  
等から募った基金を原  
資として資金の支援を  
行う事業。札幌市との  
分母の差から、本町で  
実現するには厳しいが、  
基本的な考え方は非常  
に大切である。

本町及び公的機関に  
おいて寄附を受ける基  
金は複数あるが、でき  
るものは一元化して、  
使い道が明確かつ寄附  
しやすい基金の創設を  
検討する必要がある。

## 産業厚生常任委員会 調査報告

### 公営住宅の現状と 今後の取り組みについて

5年ごとに見直しを  
行うこととしている公  
営住宅長寿命化計画の  
見直しが平成28年度と  
なることから調査を実施。  
町内にある12団地全て  
を現地視察した。

本町の公営住宅は清  
水地区においては10  
1棟、470戸、入居  
戸数377世帯、御影  
地区は20棟、76戸、入

居戸数は51世帯で、政  
策空家が74戸あり、全  
体の入居率は90・7%  
となっている。

委員からは「政策空  
家は景観美化と事故防  
止の観点からも早期の  
取り壊しが必要」「入居  
のしおりに沿った適切  
な使用を適宜指導して  
ほしい」との意見があ  
った。

今後の取り組みにつ  
いては、「精力的に住宅  
の建設を進めるべき」「入  
居の動向等を再度調べ  
る必要があるのでは」「高  
齢者等に対して利便性  
の高い住宅供給の実現  
に向けて、建設箇所につ  
いては再検討すべき」  
「まちなかにある遊休地  
や消防庁舎跡地等を有



町内にある12の公営住宅全てを  
現地視察した。

て替えが必要な公営住  
宅があるが、担当者か  
ら実情について聞いた  
ところ、入居者の多く  
は収入が低く住み替え  
が困難であり、「町の政  
策により解決していく  
ことも検討すべき」と  
の意見も出された。

公営住宅長寿命化計  
画の中間での見直しでは、  
委員から出された意見  
を十分に検討しながら、  
現状認識と将来に禍根  
を残さない取り組みが  
必要である。







## 議会のうごき

8月

- 19日  
議会広報研修会（札幌市）
- 21日  
十勝町村議会議長研修会（足寄町）
- 25日  
議会運営委員会
- 26日～27日  
総務文教常任委員会  
視察調査（当別町・札幌市）

9月

- 1日・10日  
議会運営委員会
- 3日・8日・14日・15日  
全員協議会
- 3日・11日  
産業厚生常任委員会
- 7日  
産業厚生常任委員会（合同作況調査）
- 8日  
総務文教常任委員会
- 8日・10日・11日・14日・15日・17日  
第5回町議会定例会

10月

- 19日・26日  
全員協議会
- 19日  
議会運営委員会
- 23日  
十勝町村議会議員研修会（士幌町）
- 26日  
第6回町議会臨時会

11月

- 4日  
議会運営委員会
- 12日  
全員協議会
- 13日  
産業厚生常任委員会  
視察調査（本別町・足寄町）

## 議会を傍聴してみませんか。

開会  
12月8日  
(火曜日)

12月定例議会は12月8日に開会を予定しています。傍聴は町議会での審議の状況を直接ご覧になることができる身近な方法です。傍聴の手続きは、受付簿に住所・氏名を記入するだけです。気軽においでください。

## 臨時議会 DIGEST ダイジェスト

第6回臨時会 【会期：10月26日】

## 暴風による被害の緊急的な復旧費用に365万円

### 行政報告

10月1日から3日にかけての暴風による被害について、公共施設においては車両センター車庫他3施設において屋根トタンのめくれやガラスの破損等が発生、倒木等の被害については、計71箇所において撤去を行った。

## 平成27年度 補正予算

### 一般会計

(5・6回目の補正)

2,070万円増

総額85億639万円

### 一般会計の主な補正(歳出)

◇車両センター屋根葺き替え工事	189万円の増額
◇倒木等処分委託料	113万円の増額
◇いきいきふるさとづくり基金積立金	654万円の増額
◇コンピューター機器購入費	540万円の増額
◇予防接種委託料	299万円の増額
◇農業用河川工作物応急対策事業負担金	210万円の増額

## 議会 TOPICS トピックス

### 十勝町村議会議員研修会

10月23日、士幌町において、十勝町村議会議員研修会が開催されました。地方独立行政法人北海道立総合研究機構理事長で工学博士の丹保憲仁氏から「近代の終わるころ～人口100億人の世界」と題した講演があり、参加した議員は、講師の話に熱心に耳を傾けていました。



## 編集後記

街路樹のナナカマドの実が赤く熟し、秋を感じるのもつかの間、雪の便りが届けられる季節となりました。

新たな議会構成で事業内容を振り返っての活発な議論が交わされ、平成26年度各会計の決算審議が行われました。また、2回目を開催しました議会報告会と町民との意見交換会での質疑、意見・提言等をいくつか報告させていただきました。

議会だよりは限られたページ数ですが、議会活動を住民の皆様にお知らせするため、正しく、読みやすく、親しみやすくを基本にお届けしております。どうぞ、ご意見、ご感想をお寄せください。

議会運営委員会委員 奥 秋 康 子

★生中継はスマートフォン（一部機種除く）でも見るできるようになりました。

清水町議会ホームページ <http://www.town.shimizu.hokkaido.jp/gikai>  
清水町議会 e-mail [gikai@town.shimizu.hokkaido.jp](mailto:gikai@town.shimizu.hokkaido.jp)